

### 1.(二重の和差算)

「2つの数のペア」と「残りの1つの数」の差が示される問題では、まず「ペア」と「残り」の和差算を解き、次に「ペア」の2つの数の和差算を解きます。

- (1) 合計が45である三つの数A,B,Cがあります。AはBとCの和より3大きく、CはBより3小さい時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

A= , B= , C=

- (2) 合計が66である三つの数X,Y,Zがあります。YとXの和はZより6小さく、XはYより6小さい時、X,Y,Zはそれぞれいくつですか？

X= , Y= , Z=

### 2.(疑似和差算)

3数の合計が書いていない問題では、和と差が分かっている 2つをまず和差算で求めてから残りを求めます。

- (1) 三つの数X,Y,Zがあります。ZとXの和は37で、YはXより3小さく、XはZより7大きいです。X,Y,Zはそれぞれいくつですか？

X= , Y= , Z=

- (1) 三つの数A,B,Cがある。BとAの和は24、CとBの和は22、BはAより6小さい時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

A= , B= , C=

### 3.(和和和算)

差が示されていない問題では ①和の条件式を合計したものを 2で割って3つの数の合計を出し ②和の条件式2つずつを比べて差を求め ③あとは3つの数の和差算を解きます。

三つの数A,B,Cがあります。AとBの和が24、BとCの和が27、AとCの和が21である時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

A= , B= , C=

### 1.(二重の和差算)

「2つの数のペア」と「残りの1つの数」の差が示される問題では、まず「ペア」と「残り」の和差算を解き、次に「ペア」の2つの数の和差算を解きます。

- (1) 合計が45である三つの数A,B,Cがあります。AはBとCの和より3大きく、CはBより3小さい時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

はじめにAとB+Cの和差算と考えてAを求めると、  
Aは「大」なので $(45+3) \div 2 = 24$ 、B+Cは $(45-3) \div 2 = 21$   
次にBとCの和差算と考えて、B(大)は $(21+3) \div 2 = 12$   
C(小)は $(21-3) \div 2 = 9$ と分かる。

A= 24 , B= 12 , C= 9

- (2) 合計が66である三つの数X,Y,Zがあります。YとXの和はZより6小さく、XはYより6小さい時、X,Y,Zはそれぞれいくつですか？

はじめにZとY+Xの和差算と考えてZを求めると、  
Zは「大」なので $(66+6) \div 2 = 36$ 、Y+Xは $(66-6) \div 2 = 30$   
次にYとXの和差算と考えて、Y(大)は $(30+6) \div 2 = 18$   
X(小)は $(30-6) \div 2 = 12$ と分かる。

X= 12 , Y= 18 , Z= 36

### 2.(疑似和差算)

3数の合計が書いていない問題では、和と差が分かっている 2つをまず和差算で求めてから残りを求めます。

- (1) 三つの数X,Y,Zがあります。ZとXの和は37で、YはXより3小さく、XはZより7大きいです。X,Y,Zはそれぞれいくつですか？

和と差が分かっているのはXとZなので、はじめにXとZの和差算を解くと  
 $X(\text{大}) = (37+7) \div 2 = 22$ 、 $Z(\text{小}) = (37-7) \div 2 = 15$ と分かる。残ったYはXより3小さいので  $22-3=19$

X= 22 , Y= 19 , Z= 15

- (1) 三つの数A,B,Cがある。BとAの和は24、CとBの和は22、BはAより6小さい時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

和と差が分かっているのはAとBなので、はじめにAとBの和差算を解くと  
 $A(\text{大}) = (24+6) \div 2 = 15$ 、 $B(\text{小}) = (24-6) \div 2 = 9$ と分かる。残ったCはBとの和が22だから  $22-9=13$

A= 15 , B= 9 , C= 13

### 3.(和和和算)

差が示されていない問題では ①和の条件式を合計したものを 2で割って3つの数の合計を出し ②和の条件式2つずつを比べて差を求め ③あとは3つの数の和差算を解きます。

三つの数A,B,Cがあります。AとBの和が24、BとCの和が27、AとCの和が21である時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

和の式三つを合計すると $24+27+21=72$ になり、 $(A+B)+(B+C)+(A+C) = (A+B+C) \times 2$ なので、三数の和 $(A+B+C) = 72 \div 2 = 36$ である。  
次に差の式「 $A+B=24$ 」と「 $B+C=27$ 」を比べるとAはCより3小さいと分かる。同様に「 $B+C=27$ 」と「 $A+C=21$ 」からAはBより6小さく「 $A+B=24$ 」と「 $A+C=21$ 」からBはCより3大きくと分かる。  
あとは、三数の和差算として解くと、一番小さいAと他の二数との差が6,3なので、 $A(\text{小}) = (36-6-3) \div 3 = 9$ 、 $C(\text{中}) = 9+3=12$ 、 $B(\text{大}) = 9+6=15$

A= 9 , B= 15 , C= 12